

緑化基礎工 (モルタル袋) 付き植生基材マット キョウジンガー

NETIS登録番号：CG-210008-A

日本植生株式会社

〒708-8652 岡山県津山市高尾573-1

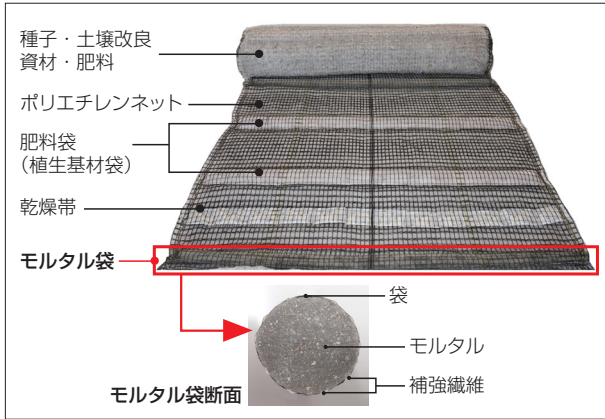
TEL 0868-28-0251 FAX 0868-28-4410

URL https://www.nihon-shokusei.co.jp/

mail info@nihon-shokusei.co.jp

〔資料請求先〕環境緑化部 (TEL.0868-28-0460)

〔事業所〕青森、盛岡、仙台、栃木、東京、神奈川、新潟、長野、名古屋、大阪、金沢、津山、岡山、島根、広島、高松、松山



製品写真



施工例 (モルタル袋が等高線状の小段を形成)

概要

「キョウジンガー」は法面保護工に用いる植生マットで、マットに新たな緑化基礎工である「モルタル袋」を備えたことが特長である。

施工時のモルタル袋は柔軟性があるため法面の凹凸に密着し、その後自然の雨によりモルタルが固化して斜面に等高線状の小段を形成することで、法面の表面流速が緩和され安定した生育基盤ができる。

固化したモルタルは長期的に生育基盤を維持するため、高強度のネットとの複合効果により土壌表面を保護する。

・特許取得 (第6495744号)

特長

1. 緑化基礎工となるモルタル袋と高強度のネットによって、植生の基盤となる小段を形成。これにより小落石を防止するほか、アンカーピンとの一体化構造により凍上害を緩和する。
2. 吹付工が不要なため、従来の植生基材吹付工と比べ1工程少なく済むほか、危険な法面での作業も軽減される。
3. 人力で施工するため小面積施工に適しているほか、施工の省力化も図ることができる。
4. 吹付機械不要のため、施工ヤード確保、材料飛散・騒音・汚水といった問題が生じず、周辺環境にやさしい。
5. 従来の植生基材吹付工と比べ経済的で、コスト縮減が図れる。

施工例

●熊本県菊池郡大津町

土質：砂岩 法向き：南 勾配：1:1.2



施工前



施工完了



施工1年11カ月後

●岩手県二戸市

土質：玉石混じり土 法向き：南 勾配：1:0.6



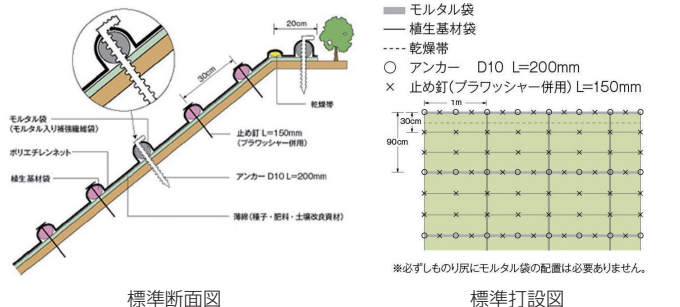
施工前



施工完了



施工2年5カ月後



標準断面図

標準打設図

製品規格

製品規格			ネット				1袋入数	備考
幅	長さ	袋間隔	素材	形状	目合	色		
1m	6m	30cm モルタル袋は90cm間隔	ポリエチレン	2重編ネット	12×20mm	ブラック	6㎡	モルタルの品質低下を防ぐため乾燥帯を装着している